

未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225
11月供給高 4791.5万円 (前年比 114.5%)
11月組合員数 3,104人 (前年比 107.9%)

生活クラブ奈良

検索してみる

総勢なんと300名の参加「奈良フェスタ」

原材料やこだわりの製法を知ること、消費材たちをますます好きになりました
11月18日(日) 奈良文化会館にて



もみじやイチヨウの木々が美しく奈良公園を彩るあたたかいお出掛け日和の秋の日、第5回「奈良フェスタ」を開催しました。参加者大人160名(内未組合員55名)、子供89名、組合員スタッフ38名、職員13名の総勢なんと300名の参加で大盛況のフェスタとなりました。

生産者と話せて
楽しかった

今回、参加生産者26のうち半数が初めての参加で、お話を聞くのが楽しみだという声も多数聞こえてきました。生産者からも参加できてうれしーいと言っていました。初めてのお手伝いの組合員も多く、運営側としては負担が多く大変だったのではと心配していましたが、「色々学べて勉強になった。」生産者の方々とお話しできて良かった。」と喜びの声が聞けました。一緒に手伝ってくれた子どもたちも本当に大活躍でした。バイオサポこどもラボコーナーにも親子連れで沢山参加され、小さい子どもたちも熱心に着色料や添加物の実験を体験し、学んでくれました。



こだわりの消費材を
いろいろと試食

会場となった奈良文化会館は調理が出来ず、試食の内容が限られていたのですが、今まで以上の参加があり嬉しい限りでした。どの生産者も熱心にそれぞれの安心安全、おいしさへのこだわり、生産者ならではの利用方法や生産者秘伝の利用方法、レシピ等を語っていただけで、消費材たちを益々好きになりました。

ちょっとした高価で手が出なかつた消費材もその原材料や製法を知ると「そんなに安くはないの？」と反対に言ってしまうほどでした。今回のカタログ掲載が楽しみです！
商品を買う・売るという一般の流通システムでは味わえない生産者・組合員・職員の三輪でつなぐ協同組合の醍醐味が形となった一コマを撮りました。この機会に力を発揮する仲間を増やしたい。おいしい！と評判のケチャップコーナー



おいしい！と評判のケチャップコーナー

↑ おお節けずりに挑戦
みえきまね販売コーナー



↑ コツがわかれば、さらに美味しい！
日東珈琲(株)コーナー

生活クラブの消費材10原則【前文】

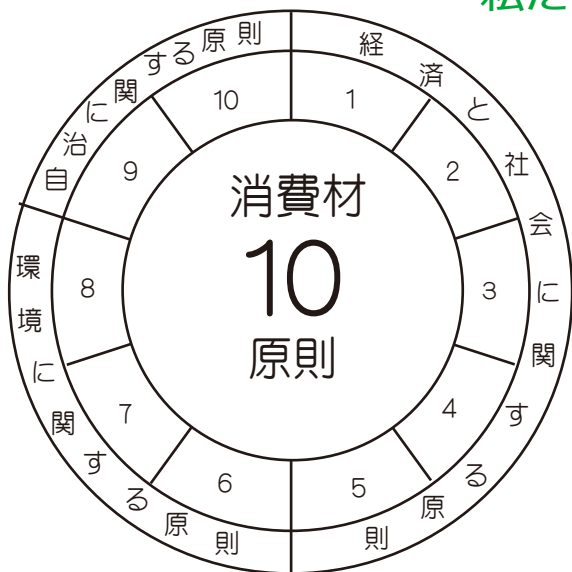
私たち、生活クラブと生産者は、共に対等な立場で消費材(*)を開発し、その共同購入を通じて「健康で安心して暮らせる社会」の実現をめざします。消費とは生命が生まれて死ぬまでの過程そのものであり、何をつくり出し、選び、利用するかという私たちの行動によって未来の命と環境のあり方が決まります。だからこそ私たちは、原材料の調達から生産、流通、消費、廃棄に至るすべての過程で安全・健康・環境を最大限に尊重し、ここに「生活クラブの消費材10原則」を定めます。そして、関わるすべての人が主体的に参加する制度の下に、継続的に目に見える形でこの原則を追求します。

(*)生活クラブでは、取り扱う食品や生活用品を利潤追求が目的の「商品」ではなく、実際に使う人の立場にたった材であるという思いを込めて「消費材」と呼んでいます。消費材を通じて、生活の中にある課題の解決をめざしています。

『自主基準』と『消費材 Step Up 点検』

私たち組合員が直接“消費材”を確認すること

- 第1原則 安全性を追求します
- 第2原則 遺伝子操作された原材料は受け入れません
- 第3原則 国内の自給力を高めます
- 第4原則 公正で責任のある原材料の調達をめざします
- 第5原則 素材本来の味を大切にします
- 第6原則 有害化学物質を削減します
- 第7原則 3Rを推進し、さらなる資源循環をすすめます
- 第8原則 温室効果ガスの排出削減をすすめます
- 第9原則 積極的に情報を開示します
- 第10原則 独自基準を定め、自主的な管理をすすめます



『生活クラブの消費材10原則』についてのご質問などは、担当理事(堀口)までお問い合わせください。

『生活クラブの消費材10原則』は、より良い消費材を生み出すための基本ルール。この原則を実現するために、消費材の「自主基準」を組合員と生産者が一緒に考え、どのくらい達成できているかを「消費材 Step Up 点検」(旧・おおぜいの自主監査)で組合員が共に確認します。前文にもあるように、組合員と生産者は共に対等な立場で消費材を開発し、その消費材の共同購入を通じて生活の中にある課題の解決をめざし、又、健康で安心して暮らせる社会の実現を目指しています。先に述べた「自主基準」の作成や「消費材 Step Up 点検」という具体的な仕組み(「持続可能な生産と消費」推進制度)を積極的に活用し、消費材をより良くしていくためにお互いが関わりながら向き合っていく、これこそ生活クラブの組合員ならではの醍醐味ではないでしょうか?この素晴らしい仕組みを奈良でもいっそう活用していきたいものです。(消費担当理事 堀口雅子)